

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JPR東条第3工場	階数	地上1F
建設地	兵庫県加東市南山六丁目9番3	構造	S造
用途地域	工業地域、南山地区	平均居住人員	20 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,500 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 竣工	評価の実施日	2024年6月1日
敷地面積	35,388 m ²	作成者	石垣孫明
建築面積	3,305 m ²	確認日	2024年7月1日
延床面積	3,303 m ²	確認者	石垣孫明

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値

②建築物の取組み

③上記+②以外の

④上記+

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	市が定める南山地区計画に基づき、地域の景観との調和を図り、自然環境を生かした施設計画を行った。	その他 特になし。
Q1 室内環境	建築基準法に基づき十分な換気量を確保し、化学汚染物質対策としてF★★★★を採用し空気環境に配慮したものとした。	Q2 サービス性能 軒高を充分確保し、広い内部空間を確保すると共に設備配管等の更新に考慮したゆとり有る計画を行った。
LR1 エネルギー	LED照明設備を採用し照明効率がよいものを採用した。	Q3 室外環境 (敷地内) 南山地区計画に基づき緑量を確保し、適切な緑地づくりを行った。
LR2 資源・マテリアル	化学物質排出把握管理促進法に基づき対象物質を含有しない建材を使用する計画とした。	LR3 敷地外環境 敷地内部に従業員及び搬入業者用の駐車施設を確保し、外部道路設備に負担をかけない計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される